



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤオコー
コード番号 8279 URL <http://www.yaoko-net.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川野 澄人
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 上池 昌伸

TEL 049-246-7000

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	84,293	6.1	4,272	1.0	4,229	2.1	2,854	4.0
28年3月期第1四半期	79,430	—	4,229	—	4,140	—	2,745	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	73.53	—
28年3月期第1四半期	70.71	—

(注)当社は、平成27年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成28年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成28年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	143,094	69,848	48.8	1,798.93
28年3月期	142,399	67,991	47.7	1,751.10

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 69,848百万円 28年3月期 67,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	338,500	4.0	14,350	3.6	14,000	3.4	9,400	3.7	242.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	40,013,722 株	28年3月期	40,013,722 株
29年3月期1Q	1,185,759 株	28年3月期	1,185,891 株
29年3月期1Q	38,827,914 株	28年3月期1Q	38,828,087 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経済環境は、個人消費が伸び悩むなか本格的な景気の回復は一進一退で、先行き不透明な状況が続いております。

また、業界・業態の垣根を超えた競争をはじめ、天候不順による原料相場の不安定化、建築・資材コストの高騰や雇用環境の変化に伴う人材採用難など、食品小売業の経営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような環境下、当社におきましては、第8次中期経営計画3ヶ年の2年目として、「スーパーではなく『ヤオコー』と呼ばれる存在へ」をメインテーマに掲げ、「商品・販売戦略」、「運営戦略」、「育成戦略」、「出店・成長戦略」の4つの課題を柱に、生活者の「豊かで楽しい食生活」の実現に向け取り組んでまいりました。

商品面につきましては、新規商品開発に傾注する一方、売上上位商品や旬の素材を中心とする主力商品の磨き込みと、商品のリニューアルによる活性化に尽力いたしました。特に、デリカ・生鮮センターの活用により、店舗における作業負担軽減と並行して品揃えの強化を進めてまいりました。また、生鮮部門につきましては、生産者の皆さまと共同で鮮度・品質向上に取り組む一方、デリカ部門については主力商品の改良や地域ニーズに対応した商品開発を鋭意進め、お客さまの支持向上につながりました。さらに、「Yes! YAO KO」（当社独自のプライベートブランド）の商品開発においては主に高品質商品群を充実させるとともに、引き続き「star select」（株式会社ライフコーポレーションとの共同開発プライベートブランド）の商品開発を進めてまいりました。

販売面につきましては、「商品育成」に主眼を置き、主力商品や旬の商品の支持拡大に注力いたしました。また、引き続き「ヤングファミリー層」（子育て世代）をはじめ、あらゆる年代層やライフスタイルのお客さまからの支持拡大を図るベースとして、EDLP（常時低価格販売）政策を展開するとともに、FSP（フリークエント・ショッパーズ・プログラム）の活用をより深耕した取組みを実施してまいりました。さらに、お客さま目線による従業員の接客意識の向上への取組みにも注力してまいりました。

店舗運営につきましては、作業工程の見直しやIT化・機器導入、アウトソーシングの拡大による業務効率化を推進するとともに、生産性向上についてモデル店舗での取組みの「横展開」を重点的に進めてまいりました。

店舗につきましては、4月に浦和中尾店（埼玉県さいたま市）、千葉ニュータウン店（千葉県白井市）の2店舗を開設いたしました（平成28年6月末現在150店舗）。また、既存店の活性化策として、4月に竜ヶ崎店（茨城県龍ヶ崎市）、6月に藤代店（茨城県取手市）の2店舗について大型改装を実施いたしました。

上記の結果、当第1四半期累計期間における営業収益は84,293百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は4,272百万円（同1.0%増）、経常利益は4,229百万円（同2.1%増）、四半期純利益は2,854百万円（同4.0%増）となりました。

なお、当社は、スーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(注)「FSP（フリークエント・ショッパーズ・プログラム）」とは、ロイヤルカスタマーの維持拡大を図るための販売促進に関するマーケティング政策のことで、ポイントカード等でお客さまの購買データを分析して、個々のお客さまに最も適した商品・サービスを提供すること。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ695百万円増加し、143,094百万円となりました。これは主に、流動資産のその他に含まれている未収入金が減少したものの、新規出店・改装に係る投資により有形固定資産が増加したためです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1,161百万円減少し、73,246百万円となりました。これは主に、借入金が増加したものの、未払費用、流動負債のその他に含まれている未払金及び未払法人税等が減少したためです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ1,857百万円増加し、69,848百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(役員退職慰労引当金)

当社は、平成28年3月14日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度（以下「本制度」という。）を廃止することを決議し、平成28年6月21日開催の第59回定時株主総会において、在任中の取締役及び監査役に対し、本制度廃止までの在任期間に応じた役員退職慰労金を打ち切り支給することが決議されております。支給時期につきましては、当該役員の退任時とする予定であります。

これにより、当第1四半期会計期間において、「役員退職慰労引当金」を取り崩し、打ち切り支給に伴う未払額1,503百万円を長期未払金として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,764	4,377
売掛金	2,504	2,389
商品及び製品	5,998	6,094
原材料及び貯蔵品	72	98
繰延税金資産	1,336	767
その他	5,724	4,560
流動資産合計	20,400	18,287
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	43,383	43,696
土地	35,798	37,735
その他(純額)	19,356	19,639
有形固定資産合計	98,539	101,071
無形固定資産	3,216	3,231
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,065	2,081
差入保証金	14,488	14,763
その他	3,688	3,659
投資その他の資産合計	20,243	20,504
固定資産合計	121,998	124,807
資産合計	142,399	143,094

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,261	18,416
1年内返済予定の長期借入金	6,472	7,204
未払費用	7,499	6,277
未払法人税等	2,722	983
賞与引当金	2,039	1,234
商品券回収損引当金	33	34
ポイント引当金	1,083	547
その他	5,156	4,010
流動負債合計	44,268	38,709
固定負債		
長期借入金	14,031	18,437
再評価に係る繰延税金負債	37	37
退職給付引当金	2,373	2,433
役員退職慰労引当金	1,501	—
株式給付引当金	341	338
資産除去債務	2,928	2,964
預り保証金	5,126	5,083
その他	3,797	5,241
固定負債合計	30,139	34,536
負債合計	74,407	73,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,199	4,199
資本剰余金	4,361	4,361
利益剰余金	66,440	68,319
自己株式	△2,145	△2,144
株主資本合計	72,856	74,735
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	141	118
土地再評価差額金	△5,006	△5,006
評価・換算差額等合計	△4,864	△4,887
純資産合計	67,991	69,848
負債純資産合計	142,399	143,094

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	75,766	80,427
売上原価	54,637	58,054
売上総利益	21,128	22,373
営業収入	3,664	3,866
営業総利益	24,793	26,239
販売費及び一般管理費	20,563	21,967
営業利益	4,229	4,272
営業外収益		
受取利息	25	25
受取配当金	3	3
補助金収入	0	48
その他	13	9
営業外収益合計	43	86
営業外費用		
支払利息	127	124
その他	4	4
営業外費用合計	132	129
経常利益	4,140	4,229
特別利益		
賃貸借契約違約金収入	0	12
抱合せ株式消滅差益	264	—
特別利益合計	265	12
特別損失		
固定資産除却損	230	19
減損損失	74	—
その他	8	—
特別損失合計	313	19
税引前四半期純利益	4,093	4,223
法人税、住民税及び事業税	722	813
法人税等調整額	624	554
法人税等合計	1,347	1,368
四半期純利益	2,745	2,854

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。